

# ふじがわ

10月号 昭和60年10月5日発行 No.291

## 町のメモ

昭和60年10月1日現在  
 人口 16,959人  
 増減 -15人  
 男 8,352人  
 女 8,607人  
 世帯数 4,386世帯  
 面積 31.09km<sup>2</sup>

富士川町 総務課



チームワーク+力のバランス=  
 人間ピラミッド

(町立第一中学校体育祭)

町のこころの目標  
 「笑顔であいさつ明るい町に」

### おもな内容

- 2～3ページ 町議会9月定例会の町長一般行政報告
- 4～5 昭和59年度まちの家計簿
- 6～7 町のわだい
- 8～9 広報ディスカッション
- 10～11 ママさん記者が取材中「宇多利人形劇サークル」
- 12 戸籍の窓、短歌会

### 富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて明るい家庭をきずきましょう。
1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって町の未来をひらきましょう。

# 土木費4,306万6千円を中心に 6,584万6千円を補正 予算総額は35億9,305万3千円に

町議会の9月定例会が、9月25日(水)午前9時から三日間の日程で開会され、常葉雅文町長の一般行政報告を皮切りに、昭和59年度富士川町一般・国民健康保険特別・土地取得特別・老人保健特別・水道事業会計の歳入歳出決算認定や昭和60年度一般・国民健康保険特別会計補正予算、教育委員の任命につき同意を求めることについて、富士川町表彰条例にもとづく功勞表彰者及び善行表彰者の同意を求めることについてなど十三議案が慎重に審議され、27日(金)にはすべて原案どおり可決されました。

昭和60年度一般会計予算は、緊急地方道路整備事業富士川由比線工事などを中心

## 町長の一般行政報告

●投資的事業の執行について  
工事発注は当初予算額に対し八〇・四割の発注率であり、その主なものは、中央公民館建設工事、第二小学校耐震補強工事、岩淵保育園移転改築工事、公共上町小山線道路改良工事、農免農道岩淵開設第一・第二工区工事等です。残り事業についても、第三四半期及び第四四半期にかけて、計画的に発注をしていきたいと思っています。

●粗大ゴミの収集処理の状況について  
テレビ、洗濯機、冷蔵庫の三

機器の収集処理を去る8月20日から開始しましたが、当初予測しました台数より少なく、効率的収集により予定日より早く収集処理が終了する予定です。

●総合防災訓練について  
9月1・2日には、国・県・町を中心として、事業所・学校等も参加し、主に情報伝達の訓練を実施し、併せ、各家庭においても警戒宣言の発令にあわせて家庭内訓練を実施していただきました。各家庭における対策の確認を「点検表」によりアンケート集計をしましたが、今後

もより一層の啓蒙活動の必要性を痛感しました。

来る11月10日には、地域防災訓練を各自自主防組織を中心に実施しますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

防災訓練も今年で七回目を数えますが、マンネリ化することなく、自主防の活性化と併せ訓練を有意義に進めていきたいと思っています。

●中央公民館の完成とオープンに向けての対応について  
去る9月3日中央公民館本体の引渡しを受け、その勇姿に接

したわけですが、4日以後、館長以下五人の職員がすでに執務を開始しています。

現在、11月3日オープンに向けて備品類及び植栽工事の発注も済み、10月中旬には全館整備が完了する運びとなっています。

また、オープン記念事業も、11月9日には県文化財団との共催で「桐五重奏」の演奏会、11月28日には講演会を、11月29日には郷土の音楽家齊藤定子さんとミュージカルアカデミーのジョイントコンサート、1月26日には劇団「あつむ」による「風をみた少年」を、それぞれ予定しています。

オープンの日には、町民文化



常葉町長から企業代表者に  
検査合格証が  
(中央公民館建設工事引渡式)

祭が新企画で開催され、その他町文化財の特別展、郡小中学校音楽発表会等各種の行事が計画されています。

なお、今年の敬老会は、この中央公民館で11月16日に開催し高齢者のみなさんにも披露したいと思えます。ご招待申し上げる七十歳以上の方は、一千二百四十三人で、前年度より五十九人増加しています。当町の最高齢者は九十八歳です。

●町の行政改革大綱について  
行政改革大綱の策定にあたっては、庁内組織「行政改革推進本部」、各課の「行政改革推進担当者」行政改革推進委員会において検討

昭和70年を目標とした第二次総合計画においては「内面充実の十年間」を基調に、町づくりのテーマを、●住みよい町をつくる ●働きがいのある町をつくる ●誇りをもてる町をつくる

の三点とし、将来像のイメージとして「二万人都市富士川・緑と君と光の町づくりをめざして」で、基本構想・基本計画について審議会全体会及び各部会で審議をしています。

審議会での審議結果をふまえ、「基本構想」については12月議会へ提案をしていく予定としています。



質問に答える常葉町長

●第二次総合計画の審議状況について  
昭和70年を目標とした第二次総合計画においては「内面充実の十年間」を基調に、町づくりのテーマを、●住みよい町をつくる ●働きがいのある町をつくる ●誇りをもてる町をつくる

当面の措置事項として、(1)事務事業の見直し (2)組織・機構の簡素合理化 (3)給与の適正化 (4)定員管理の適正化 (5)民間委託・OA化等事務改革の推進 (6)公共施設の設置及び管理運営の合理化及び町議会の合理化が骨格です。具体的事項の実施・検討にあたっては、町民のみなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

●教育委員の任命につき同意を求めることについて  
○昭和60年度富士川町一般会計補正予算について  
○昭和60年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算について  
○富士川町消防費じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例について  
○富士川町立図書館設置条例を廃止する条例について

○静岡県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の一部を変更する規約について  
○富士川町表彰条例にもとづく功勞表彰者及び善行表彰者の同意を求めることについて  
○専決処分について (昭和60年度富士川町立第二小学校校舎耐震補強工事変更請負契約締結について)

○昭和59年度富士川町一般会計歳入歳出決算認定について  
○昭和59年度富士川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

○昭和59年度富士川町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

### 9月定例会で 可決された議案

●一般会計の補正内容

○昭和59年度富士川町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

○昭和59年度富士川町水道事業会計決算認定について

総務費へ 五百七十万三千円  
年金業務プログラム開発委託料  
収納オンラインシステム開発支援委託料

四千三百六十六千円  
緊急地方道路整備事業富士川由比線工事  
木島6号線拡幅工事  
吉津室野線測量設計委託料

民生費へ 七十八万八千円  
衛生費へ 五十万九千円  
農林水産業費へ

十六万三千円  
教育費へ 四百九十万二千円  
校舎補修工事  
覆土補修工事

六十六万一千五百円  
農林水産業費へ  
農林水産業費へ

四百万円  
災害復旧費へ  
中之郷農業用水壁復旧工事  
上町法面崩壊復旧工事

町単谷津かん排水工事  
農林水産業費へ  
農林水産業費へ  
農林水産業費へ

小池幸町線崩土除去工事  
原方池野線石積工事他五箇所  
松野内房線崩土除去工事

### 教育委員に石川文彦氏が再任



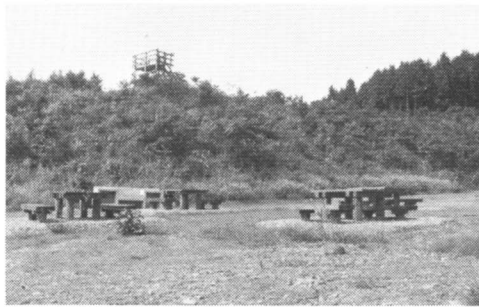
石川文彦氏(51)  
(俣下町)

町議会の9月定例会で同意を得て再任された石川文彦氏は、昭和35年4月から37年3月までと、45年から56年まで

同氏は、引き続き10月1日から今後四年間教育委員としての職務にあたり町の教育向上に活躍されます。

社会教育委員 (55年4月からは社会教育委員長) を務め、56年10月からは教育委員を務めてきました。

整備された  
金丸山キャンプ広場



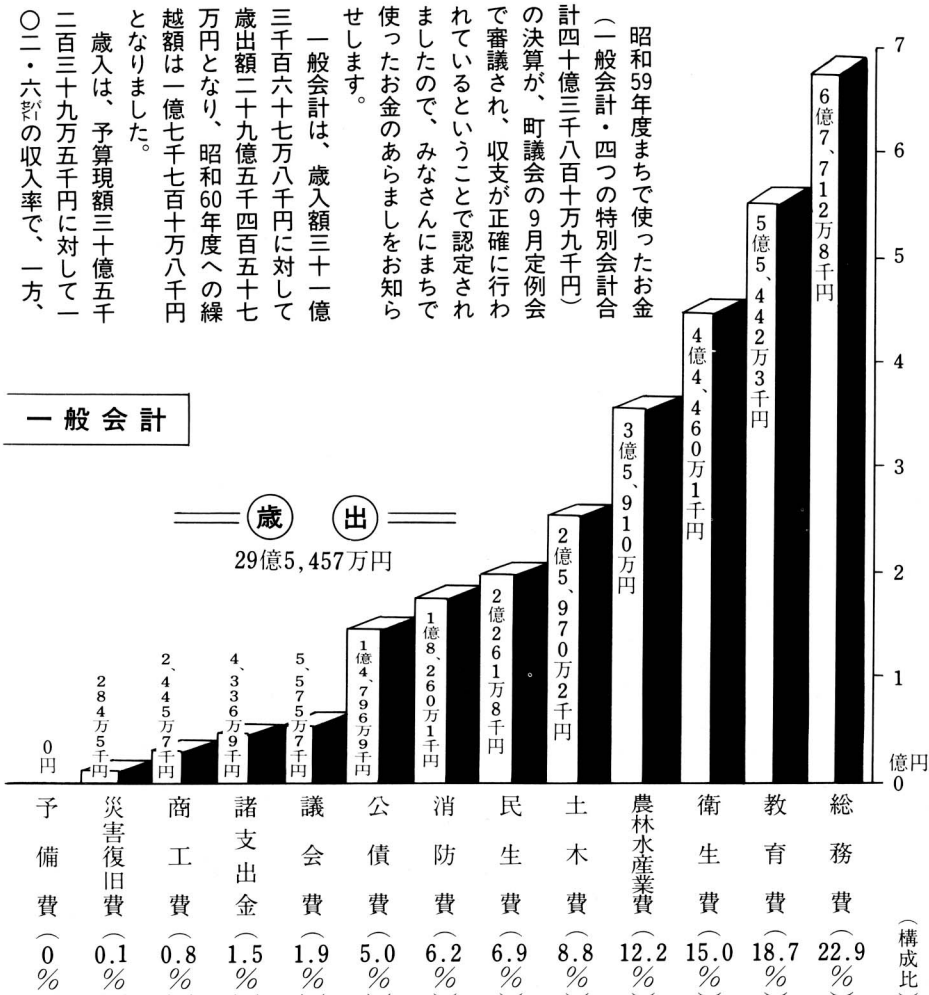
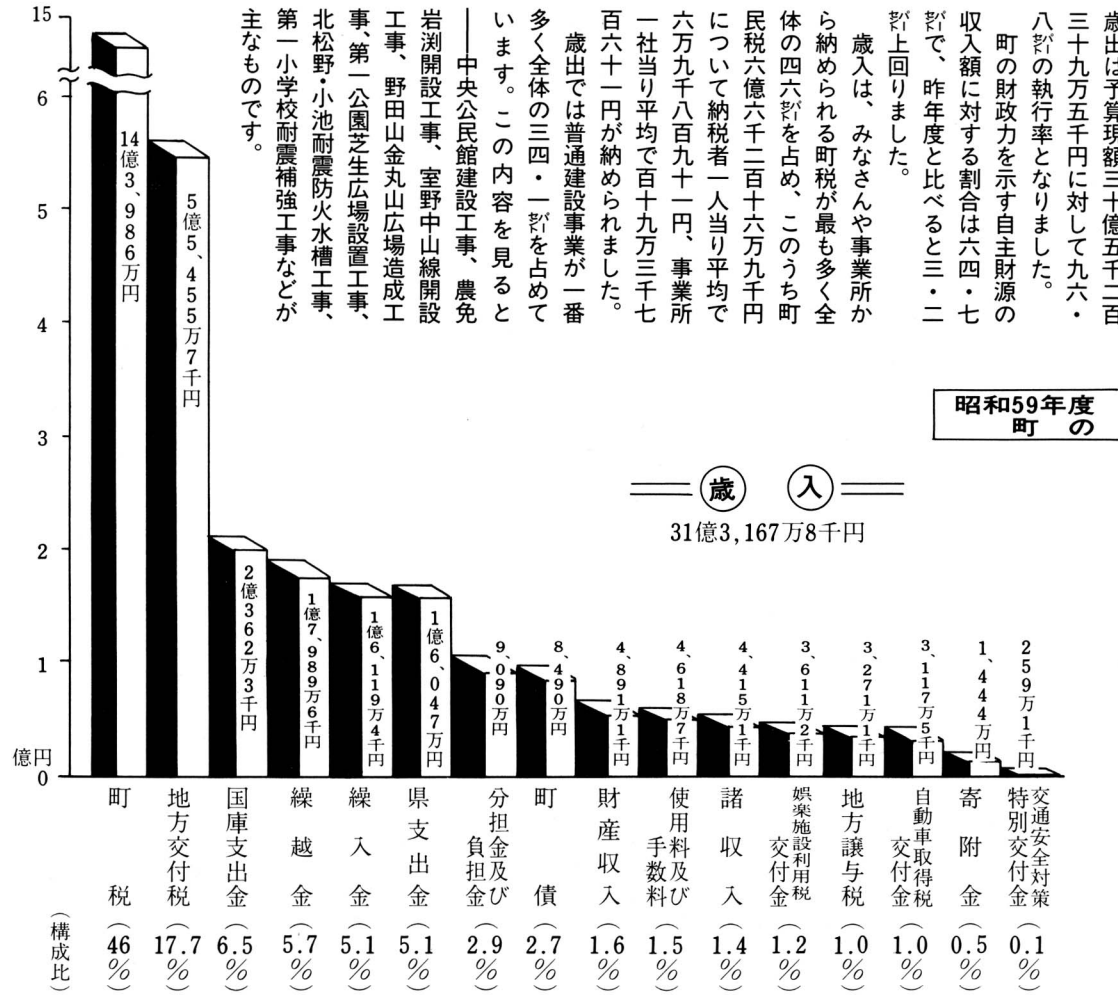
補修が進む  
温水ため池



整備が進む  
第一公園



導入された  
新型の電算機



# 昭和59年度まちの家計簿 まちで使ったお金 四十億三千八百十万九千円

建設が進む  
農免岩渕道路



拡張された  
堀之内農道



区分	金額	構成比	伸び率
人件費	6億3,874万9千円	21.6(%)	100.7
物件費	3億789万7千円	10.4	116.7
維持補修費	918万6千円	0.3	167.3
扶助費	3,640万3千円	1.2	107.4
補助費等	5億6,199万9千円	19.0	110.6
普通建設事業費	10億729万1千円	34.1	113.5
災害復旧事業	284万5千円	0.1	13.1
積立金	1億9,799万3千円	6.7	187.3
投資・出資及び貸付金	1,923万8千円	0.7	126.1
繰出金	2,500万1千円	0.9	81.0
公債費	1億4,796万8千円	5.0	99.3

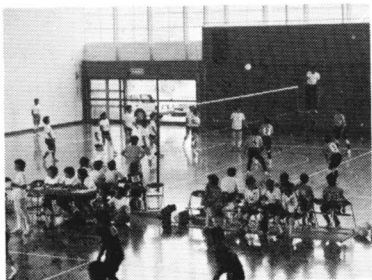
## 歳出の性質別

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	4億4,662万4千円	4億4,428万7千円
土地取得	1億9,449万9千円	9,357万円
老人保健	3億4,253万2千円	3億3,800万1千円
水道事業		
収益的収支	1億4,966万4千円	1億967万5千円
資本的収支	4,038万2千円	9,800万6千円

## 特別会計の決算

### 本通りチーム 郡婦人バレーボール大会で初優勝

9月8日、由比町民体育館で「第二十三回庵原郡婦人バレーボール大会」が、また、蒲原町の富士川緑地公園で「第十六回県父親ソフトボール大会庵原地区予選会」が行われました。婦人バレーボール大会では、各町の予選を勝ち進んできた十二チームが熱戦を展開した結果、当町の本通りチームが見事初優勝しました。



好プレーが続出した  
婦人バレーボール大会

また、父親ソフトボール大会では、各町の小学校区の予選を勝ち進んできた八チームが県大会への出場権を目指した結果、上町チームが決勝戦に進みましたが、由比町北田チームに僅差で敗れ優勝を逸しました。



ソフトボール大会

### 中央公民館 本體工事が完成

町民の文化活動の拠点として昨年からの建設を進めてきた中央公民館本體工事が完成し、9月3日同館の多目的室で常葉雅文町長、佐野喜平議会議長をはじめ議会議員、工事関係者など約五十人が出席し「建設工事引渡式」が行われました。常葉町長から建設共同企業体の久保田幸男平和建設株式会社社長に検査合格証が交付され、引き続き企業体の若月晃樹若月組社長から常葉町長に同館のキーボックスが引き渡され、同館はこの日から町管理となりました。今後、11月3日開館を目指し植栽や付帯機器の導入が行われていきます。

広報ふじかわでは、新中央公民館を11月号の中で掲載しお知らせします。

## 町の

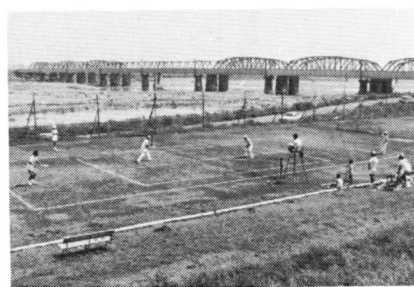
## わだ

### 町民卓球大会・軟式テニス大会に 約百四十人が出場

スポーツ日和の9月3日、町体育協会卓球部主催の「第二十九回町民卓球大会」が町立社会体育館で、また、同会軟式テニス部主催の「第四回軟式テニス大会」が町営テニスコートで盛大に行われました。約八十人が出場した卓球大会では、各区・事業所対抗や一般男子、女子の部など六種目で熱戦をくりひろげました。また、約六十人が出場した



熱戦を展開中の卓球(上)・テニス大会(下)

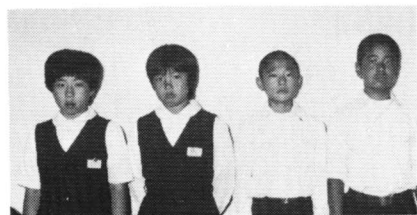


た軟式テニス大会では、男子・女子のAクラスダブルスなど四種目でチームワークや練習成果を競いあいました。両大会の優勝者は次のとおりです。(敬称略)  
◎第二十九回町民卓球大会  
各区対抗の部  
◇優勝 東町・日の出町 事業所対抗の部

### ◎第四回軟式テニス大会

- 男子Aクラスの部  
◇優勝 米山 泉(八幡町) 望月一民(二中勤務)
- 男子Bクラスの部  
◇優勝 望月智章(八幡町) 望月章夫(〃)
- 女子Aクラスの部  
◇優勝 高塚美由紀(一中) 堀沢真弓(〃)
- 女子Bクラスの部  
◇優勝 宇田川美知子(坂下) 佐野晴美(富十貫町)

- ◇優勝 中部電力富士川 営業所
- 一般男子の部  
◇優勝 成田 徹(中部電力)



写真左から勝田さん(一年生・相生町) 伊東さん(二年生・四十九町) 太田くん(一年生・宮町) 斉藤くん(二年生・東町一)

中学生を対象として「河川愛護作文」の募集を行いました。この募集には七百五十六編の応募があり、当町からは町立第一中学校が二百八十編応募しました。慎重に審議された結果、斉藤 正広・太田雅文くん、伊東智子・勝田智恵さんの作文が優秀賞に選ばれ、8月28日甲府市で行われた表彰式で、同所長から四人に表彰状及び記念品が贈られました。

### ぶどう狩り招待に 子どもたちは大喜び

9月3日、町立北松野・松千代保育園の園児八十二人が、南松野丸崎(血流下流左岸)で、酪農を営むかたわら、ぶどう作



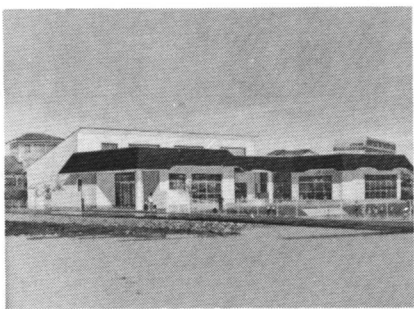
ぶどう狩りを  
楽しむ園児

この招待は、鍋田さんが、清水市南矢部での農業経営に見切りをつけ、昭和42年当町に移り住んだ時に、地元のみなさんに大変お世話になったことへの恩返しをしたい、また、早く町民になりきたいという気持で始められ、今年で四回目を迎えました。子どもたちは、先生から「ぶどうを食べて、おいしいよ」と話して、大変喜んでいました。

### 約九千三百四十二万円の工事費で 岩淵保育園が起工

8月27日岩淵字沢上(第一幼稚園付近)の岩淵保育園移転改築予定地で、常葉雅文町長、町議会議員、工事関係者など約二十人が出席し、「岩淵保育園起工式」が行われました。

この新保育園の建設計画は、岩淵・本通保育園の園児数の減少や園舎の老朽化、地震対策などに伴い、両保育園を統合し、重要視されている乳幼児期の教育



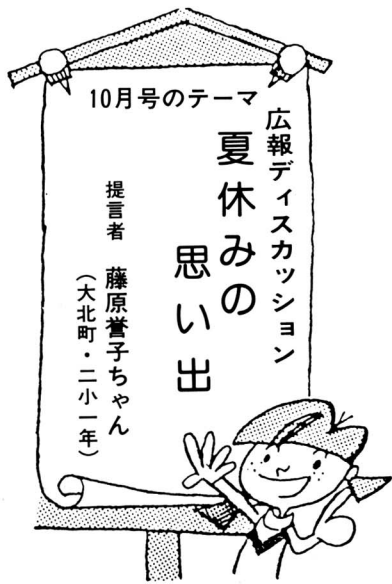
61年4月開園の園舎



起工式風景

### 河川愛護作文で 一 中学生四人が優秀賞に

子どもたちへの河川愛護を図ることを目的に、建設省甲府工 事務所(坂本忠彦所長)では、富士川流域の県内外十九校の小



10月号のテーマ  
夏休みの  
思い出

提言者 藤原蒼子ちゃん  
(大北町・二小一年)

初体験の多かった  
楽しい夏休み

堺町 一小五年 蒼雅子さん

今年の夏休みで一番楽しかったのは家族でオートキャンプをしたことでした。最初に長野県の霧ヶ峰に泊まり、上高地、立山を通り日本海の見える親不知など生まれて初めての所ばかりに行きました。とちゅう、のりくらに寄りましたが、万年雪があちこちにあって、そこでスキーをやっている人が大ぜいいるのはおどろきました。私は夏に雪を見たことがなかったのとでもうれしかった。それから黒部にも行き、トロッコ電車に乗ってとちゅうの駅でおり、野天風呂に入ったり、川で泳いだりしました。次の日に行った

有峰湖は静かな湖でした。「夜、熊が出る」と書いてあったので、こわかったけれど、星がプラネタリウムのようにきれいで、しばらくみんな星空をながめていました。

この旅で一つぎ間に思ったことがありました。それは富山地方のかわらがこげ茶色をしていたことでした。なぜこんなにちがうのかと思って、家に帰っておいしゃんに話をすると「あれは深い雪にたえるようにとくべつにできていて、ふつうのかわらとは土もやき方もちがうようだね」ということが返ってきました。

いろいろと学ぶことの多いたびでした。

デイズニールランドの  
思い出

小山 一小二年 植松亜由美ちゃん

ことしの夏休みは、とうきょうデイズニールランドへ行ききました。ついたらまず、地図をひろげておとうさんがはじめにどこに行くのかきめました。それは、ジャングルをひとまわりする舟でした。つぎにおぼけやしきに入りました。四人だから二人ずつのりました。妹が「こわいよ」となきました。そのときおとうさんがやしんをとりました。そのやしんは、妹が一

ばんいやなやしんです。マジックジャーニーというのを見ました。それは、みんなメガネをかけて見るのです。鳥が目のまえにとびだしてきたりするのつかまえてよとして、ついでに手かまえてしまいました。よくなる光と音の大パレードがありました。あかりのいっぱいついた白ゆきひめ、かめ、むかで、ミツバチなどいろいろでました。その日は、遠くのえど川の花火大会も見ることができました。デイズニールランドの花火は、頭の上でひらいたのでとても大きくてきれいでした。

家族旅行

清水町 深澤ひろ子さん(20)

子どもたちには、四十日もある長い夏休み。会社員の主人も十六日間もの休みをもらい、休みに入る前から、親子でウキウキしていました。さて、せっかくなの休み、何処へ行こうか、何をしようかと思い巡らせて、まあ、とりあえず涼しい所に出掛けようとなりました。今年暑い日が続いていたので、涼しい所に出掛けるのも最高。一味違う山並みや白樺の涼しげ

な木立。子どもたちといっしょに私たちも心と体の充電。旅先でのアスレチックでは、親子して泥んこになってはしゃぎまわり、楽しい時が持てました。家にいる時は喧嘩ばかりしている兄妹が、旅先では仲良く助け合っている。親としてはとてもうれしいことでした。高原の中の三泊四日で、夏はもう終わっているのかというような錯覚を覚えました。車を走らせて山から下ってくるうちにきびしい日差しに照らされて改めて夏だったんだと思ひ溜め

11月号のテーマ  
私の趣味

著 A. DIPLO-  
MATIN, JAPA-  
Nの二節「低い小  
山を越え富士川に  
ついた。旅舎の主  
人の頼みで立寄る  
ことにした。ロン  
ドンニュース特派  
画家ワグマンと  
主人とは旧知で  
あった。ラサフ

オード・オールコック卿が長崎江戸間陸路旅行の際会ったというのである」一方、文淵閣教師櫻井信州は帝国学士院長の櫻井錠二次男で、筆学教師山本翠城はワグマンの弟子芳翠子息かもしれない。文化勲章受章画家徳岡神泉



廣辞苑に「趣味」Taste 美的対象を鑑賞し批判する能力。棋書に「碁は肉眼を以て見ることなく能く心眼を開きて洞察すべし」とある。呉清源は「温故知新」の語を好まれる。幕末の英外交官 Ernest Satow

東北旅行

一 小四年 若生淑美さん

夏休みになってすぐ、家族みんなで東北へ旅行しました。私が一番心に残った所は、龍泉洞と浄土が浜で観音船に乗って海ねこを見たことです。

龍泉洞では、暗くて寒いどうくつの中にきれいな湖があってそれがとてもこわかった事を思い出します。水がエメラルド色で九十二メートルの深さのそこま

くつきり見えて、何だかすいこまれそうで足ががくがくしました。高い階段なんもあってつるつるすべったので、もし落ちたらどうなるのかなと思って、なおさらこわく感じました。でも本当にその水の色にはびっくりしました。

富士登山

南町一 望月緑さん(35)

朝に夕に眺めている富士山にこの夏家族で登ってきました。新五合目迄バスで行き、はりきって登りはじめたのが夕方5時30分でした。家で見ると富士はあくまでも蒼く、時には白く

めらかに裾野を遠く広げておりますが、実際は火山岩のかたまりで、すぐそこに次の室が見えますが、なかなかつきません。子どもたちもさすがに疲れぎみとなり七合目で宿をとりました。翌朝5時頃ご来光を拝み、8時に室をでました。八合目を過ぎる頃から体がだるくなつて

初めての二人旅

坂下 一小五年 小林奈緒美さん

8月10日、私はおねえちゃん

息が出ました。家族そろって旅するのは本当に楽しく、また、家では見ることのないような子どもたちの行動を見て、隠れて

きました。前を登る娘の十歩進んでは休み、休んでは「よしがんばるぞ」といって立ちあがる声に励まされて九合五勾まで登りました。娘の「お母さん、もうここでもいいから」という言葉で私の気力も萎え、次男と娘の三人はそこに止まり、主人と

いた一面を見つけた思いでうれしく思いました。これからも、楽しい時をいっぱい作り続けていきたいと思ひました。

は、真の芸術とは何かを求めて煩悶した青年時代に瀬戸秀さんを描いた「狂女」で新生面を開いた。大正9年萬屋深澤政子さんと結婚した。当町のもつ史的ロマンの重みを感じます。「勝固欣然敗亦可喜」の句がある。碁の極意は和菜。論語に「知者楽水」がある。洋々として大海を満ちし蒸しては雲となり雨と変じ、凍っては氷雪と化して、しかもその性を失わざるは水なり。日々研鑽を積み心技共に円熟し、友と和樂して、盤上に靈峰の如き雄大華麗なロマンを追うことができるのはいつの日であろうか。

投稿者へ

●11月号のテーマ 「私の趣味」

●字数

400字づつ原稿用紙一枚以内

●締切日

10月21日(月)まで

●投稿先・問合せ

富士川町役場総務課

岩淵121番地

●注意事項

匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切り日までに投稿してください。

# ママさん記者が取材中



## 「宇多利人形劇サークル」

9月20日、朝から強い日射しで真夏に逆戻りしたかと思われ、残暑の中、宇多利児童館に「宇多利人形劇サークル」を訪問し、活動などについてお話をうかがいました。

宇多利人形劇サークルは、昭和46年頃、齊藤計治先生(旭町)の指導のもとに発足し、昭和56年には現在の代表者関原至向子さん(宮町)、指導者の浦田恵子さん(宮町)に引き継がれ、新会員十一人で宇多利児童館を主な練習会場として活躍されています。

当初は母親クラブの活動が中心で紙芝居の枠を使って実演し

てきました。次第に本格的な規模のものとなり、ペープサートやしよい子人形等取り入れ、変化に富んだ人形劇サークルに成長しました。

年間活動は定期的な、10月の児童館まつり、11月の七五三の祝い、12月のひまわり学園でのクリスマス公演があります。その他今までに蒲原町の一人暮らし老人慰問、ふれあい広場での音楽劇、第二幼稚園での公演、二度のテレビ出演等多方面で活躍されています。今年度は11月に開館する中央公民館での文化祭でも公演が予定され、その活動が注目されています。

練習は週一度、午前中の二、三時間で、公演間近になると週二度行なわれます。会員の年齢層も二十歳から四十歳代と幅広く、小さなお子さん連れの方々もいますが、みんなで助け合いながらの練習も和気藹々として、家庭的な暖さを感じられました。

代表作の民話「小池ヶ瀬のおろち」を始め、レパートリーも広く、和洋物合わせ五十余本にものぼります。これらの作品は、題材



インタビュー中の広報モニター(写真右から5人目)

## 社会教育あれこれ

### 三語族

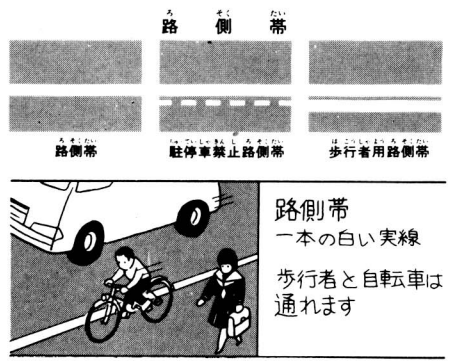
「メシ、フロ、ネル」これは生達の「ハラヘッタ、カネ、ウツセー」の三つの言葉やギャル達のはこれは、世の亭主族の帰宅の「イヤーダー、ウツソー、ホントー」の言葉を聞いていて、後には発する言葉の代表的なものといわれるものである。何とも便利な世の中になったものである。これで事足りるのである。科学技術の進歩は行きつくところを知らず、朝に原理が考えられると、夕には品物が出る感さえあり、それも「軽薄短少」の時代となっているが、我々の言葉さえもそうなるてしまいつつあるようだ。サラリーマン諸兄が一日身を粉にして働き、身も心もヘトヘトになって帰宅して、なおかつ多く語れという方が酷かもしれない。わずかな三つの言葉で用が済むとなると、まったく便利などと笑っていられないほどの問題なのであるが、俺と女房とはこれだけで意志の疎通は充分図られていると反論されるムキもあると思うがそれは、はなはだ勘違いだといものである。その証拠に、今の男子中高

「メシ、フロ、ネル」これは生達の「ハラヘッタ、カネ、ウツセー」の三つの言葉やギャル達のはこれは、世の亭主族の帰宅の「イヤーダー、ウツソー、ホントー」の言葉を聞いていて、後には発する言葉の代表的なものといわれるものである。何とも便利な世の中になったものである。これで事足りるのである。科学技術の進歩は行きつくところを知らず、朝に原理が考えられると、夕には品物が出る感さえあり、それも「軽薄短少」の時代となっているが、我々の言葉さえもそうなるてしまいつつあるようだ。サラリーマン諸兄が一日身を粉にして働き、身も心もヘトヘトになって帰宅して、なおかつ多く語れという方が酷かもしれない。わずかな三つの言葉で用が済むとなると、まったく便利などと笑っていられないほどの問題なのであるが、俺と女房とはこれだけで意志の疎通は充分図られていると反論されるムキもあると思うがそれは、はなはだ勘違いだといものである。その証拠に、今の男子中高

## 家族で話し合おう 図解交通安全

### 路側帯のある道路での自転車の走り方

歩道と車道が段差によって区別されていない道路で、道路の端に白線が引いてあるのをよく見かけます。あの白線は「路側帯」といって、歩行者の通行のためなどに設けられたものです。「路側帯」は、白線の引き方によって三つの種類があり、この中には自転車が行ける路側帯と走れない路側帯があります。白線の意味を覚えていて、歩行者に迷惑をかけるないように、正しく安全に道路を走りましょう。



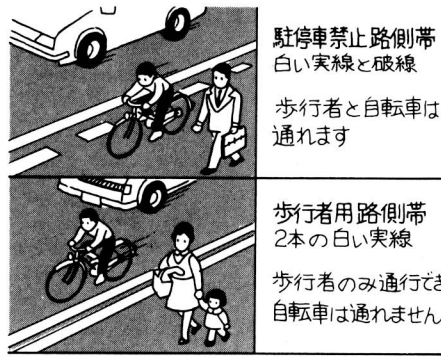
### ◆道路交通法の改正によりシ

トベルトの着用が義務づけられましたが、運転中着用していない人が見られます。必ず着用してください。

### 9月の交通事故

人身事故	11件(4)	合計	14件(7)
物損事故	3件(3)		
富士川身延線	6件(2)		
国道一号线	5件(3)		
国道	3件(2)		
道	0件(0)		
その他	0件(0)		

( )は昨年



## 蛇の躰入り

### まちの昔ばなし 伝説(二)

#### その一

昔、北松野の沖田付近に男の姿に変身した蛇が住んでいました。この時分の沖田は、一面の沼地でした。

この蛇はよく里に出かけて遊んでいましたが、たまたま出合った松永長者の娘を見染めてしまいました。蛇は男姿で毎晩娘の家に通ううちに娘とねんごろとなり、娘は子どもを宿してしまいました。

娘は、男がなにもいわないので、どこに住んでいるのか知りたくて、ある日、男の後をつきました。男は娘がつけているのも知らずに沖田の沼にくると、蛇の本体にもどり沼を泳いで深間に身を沈めました。

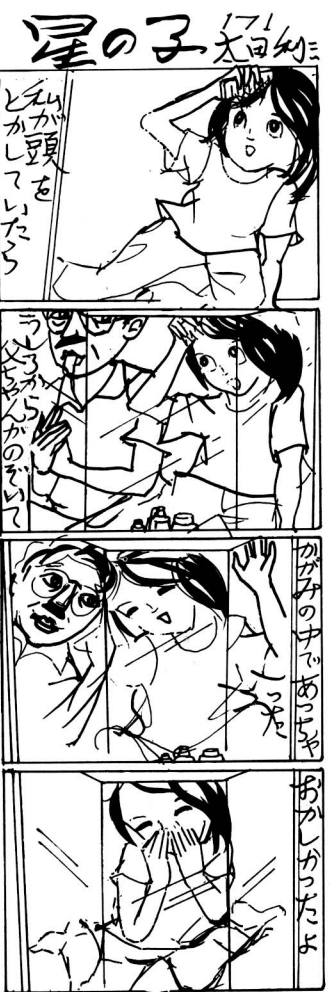
娘はびっくり仰天して、飛ぶようにして家に帰り、今迄の経緯を両親に話しました。両親は、男が蛇であるからは娘の宿したのは蛇の子どもだからはやくおろさなければと思いましたが、よい方法がありません。そこで物知りの村人たちを集めて、よい方法

#### その二

昔、昔、松野の原方の近くに美しい娘のいる家がありました。この娘のところに、毎晩紋付を着た男が通ってききました。

この男は帰るのに、いつも同じ方向に行くので、どうも変だと思った娘は、男の着物の袂に針で糸をつけました。

翌日、娘は糸を手繰って行ってみると、糸は車岩の中へ消えている。そして、岩の中で「ウーン、ウーン」という唸り声がするので、のぞいてみると男は蛇体となって苦しんでいました。



# 戸籍の窓

S 60・8・15〜9・14届出分

(敬称略)

## おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
相生町	米倉大輔	由直	長男
上町	山口剛史	和也	二男
新町	渡邊麻美子	和昭	長女
新町本町	岡崎哲郎	一男	三男

宮町	菅谷あやの	義孝	長女
〃	辻 勘助	吉幸	長男
小池	加藤 純	義明	長男
本通一	海野昌也	浩	二男
幸町	榊原あづみ	喜之	長女
〃	菅原ナナミ	勝則	長女
南町一	影島江志朗	篤	長男
南町二	尾崎隼一	憲吾	長男
富士見町	木伏結子	茂行	長女

## かなしみ

区名	氏名	年齢
富士見町	國分真夢	信昭 長女
八幡町	武井千晶	透 長女
〃	遠藤雅也	一美 長男
富士松野	溝口靖子	茂和 二女
清水町	天野裕太	治 長男
大北町	宇佐美紗代	均 二女
相生町	池谷きみ	七六
本通四	秋山藤子	六三
俣下町	小澤ふじゑ	七三

## お母さんの知恵袋

食品包装ラップ類を上手に使い分けていますか、材質によって用途に差があります。

プタジェン樹脂に密着性高く、ぴったり張り付いた時に向き、耐熱温度は低いので、電子レンジ使用には向きません。

ポリエチレンに通気性の低いのが特徴。冷凍用に適しています。

ポリ塩化ビニリデンに耐熱温度が高いので、電子レンジに使用可能です。

アルミ箔に特徴は水が染みにくく、熱伝導の良さと包んで焼く時放射熱を利用できると共に、グリルの下に敷くと汚れも防げ一石二鳥です。

ワックスペーパーはあまり一般的ではないが大変有用です。お弁当用サンドイッチ、おにぎり等包む場合、蒸れないのが特徴。水気、油気が染みないので、とても重宝します。

オープンペーパーに油を塗る代わり、天板に敷く紙ですが、ワックスペーパーの代用としても役立ちます。

(富士川町婦人会)

## 富士川短歌会

九月詠草(天野寛選)

富士市 長橋 安子  
五十年住みたる町の恋しきにかがね堤に立ちて眺むる

相生町 長谷川ゆり子  
家のめぐり萩咲かして住みし  
颯秋を持たずにこの街を去る

新町 深沢千代子  
盆終えて訪のう人なき山内にきこえ来るのは蟬の声のみ

宮町 萩野 敏音

物言えずあるがままなる生き方も五十路すぐれば赤裸々となる

上町 望月 晴子  
朝夕の涼しさ増せば終戦後の強制移住のオンドル長屋思う

四十九町 塩川 恒子

鎖もて直なる岩肥伝いつつ第二石門いま越えむとす

本通三 桐谷 静子

夜を通し鈴虫の声耳につき眠れぬままに窓白みたり

四十九町 入月 弘子

傾きし軒に止むる宿場町「重文指定」の文字はうすれつ

相生町 藤沼 満

背戸よりのかすかなる風背にうけて七十路の我は小物つくるふ

小池 中川しな子

蜘蛛の巣にかかるバツタに手を貸せば翅ふるいつつ草に飛びぬ

## 一里塚



男四十二歳・女三十三歳は、昔から厄年といわれ、これを人生の危険な年齢としている。前厄・本厄・後厄と通して、三年間は人生の苦楽が一度に来ることがある。という私も父母にすすめられ、一応、厄除け祈願をしたものである。それでは厄年とはいったい何物であるのか、なぜあるのだろうか。これは長年の年月において経験した知恵から生まれ、言い伝えられたものに違いない。私も実際、この

厄年にあたる頃になると、ほんとうにいろいろな役にまわってきたし、望まれる役に着いた。と言うことは、年齢的にも社会的にも世の中の中堅クラスとして地位を得た頃であり、社会的認知を受けた証拠であろう。男四十二歳といえは、職場や家庭でと、働き蜂のごとく一人三役をこなしている人も少なくないだろう。そして、極端な話、健康を害したり、のりすぎて経済的破滅を招いたり、名誉を失ったりすることが往々にしてあるからではないだろうか。

だから、厄年は人間の一つの節目として受けとめ、望まれた役なら期待されていると思つて

## おわび

本号9月号広報デイスカッション欄で、菊地信義さん文章中「二宮尊徳を見習えとはいえないが」を「会得と見習えとはいえないが」と、誤記し掲載しましたので、深くおわびし訂正させていただきます。